

小出文庫

(京都府南丹市立文化博物館)



丹波国園部藩は、元和元年（1619）に立藩してから明治四年（1871）まで、小出家十代が治めてきた。この小出家により代々蒐集されてきた和書・漢籍類が小出文庫である。ただし、小出家がいつの頃より蒐集し始めたものかは不明である。

大正四年（1915）、元藩校助教・園部尋常小学校校長であった上野盤山（1839-1915）らによる図書館設立運動が契機となり、旧藩主・小出家の蔵書が新設図書館に寄贈され、小出文庫が設立された。現在は、上野盤山の蔵書や明治期以降の刊本なども含めて、492点を確認される。そのうち和書に関しては平成二十二年に『小出文庫和書目録』が刊行されている。

歌書や史書、思想書など多岐にわたる書籍が収蔵されているが、その多くは素朴で質素な作りのものが多いのが特徴である。



平成二一年度 資料調査時写真